

・荒井塾長あいさつ



【リニア中央新幹線はいつ走れるのか】

厳しい寒さを乗り越えて3月から4月は別れと出会いの季節。初めて会う人に緊張している心をさくらが温かく出迎えてくれる。春を感じて様々なことが思い出され、さくらの下で旧友と酌み交わしたい。

最近、3つ隣の方が転居されました。或る日ポストに綺麗な包みが入っていました。「ご挨拶」の熨斗がかかっていました。「今まで大変お世話になりました。この部屋には素敵な家族が越してくる予定です。どうぞ宜しくお願い致します」と綺麗なカードが添えられていました。別れの季節の立派な振る舞いに心が春のように温かくなりました。



私にはずーと気になってしょうがない事がある。この男が邪魔しているから前に進まないんだという、いつも心がざわつくような気分が続いている。



ことはほぼ事実と思う。

皆さんはリニア中央新幹線建設が何故遅れているのか気になっていると思います。

私はリニア開業目標の2027年10月には88歳だ。

しかし、2027年開業は、この男のために全く無理な状況になっている。

私が元気な内にリニアが走って貰いたい。

以下は多くの報道から拾ったものだが指摘している

2023年を迎えたが、2022年に引き続き、「リニア静岡問題」解決はお先真っ暗の状態である。2018年夏から、静岡県とJR東海はリニア問題を解決するための議論を続けているが、何ら進展は見られない。

河川法の許可権限を盾に、川勝知事がさまざまな言い掛かりをつけ、リニア議論を妨害するからである。このままではリニア開業を大幅に遅らせた最大の責任者として、川勝知事の“悪名”が歴史にしっかりと刻まれることになるだろう。

静岡県の川勝平太知事は 2022 年 12 月 27 日の記者会見で、「リニアは存亡の危機にある」と語り従来通りの挑発的な発言を行った。県内の着工を認めない姿勢を崩さなかった。トンネル掘削で大井川の水量が減少するなど環境に影響を及ぼす懸念がある、という理由だ。

2023 年 4 月に予定される静岡市長選には、副知事としてリニア問題を長年担当した川勝知事の元側近が立候補を表明した。リニアの工区は静岡市内。関連する道路整備について JR 東海と基本合意した現職市長は不出馬を決めている。新市長のスタンスについても注目が集まる(1 月 27 日日経新聞)。

【これまでの経緯】

品川～名古屋間をわずか 40 分で結ぶ「リニア中央新幹線」。国民の期待を背負い、2027 年に開業予定だったが、工事が大幅に遅れている。JR 東海は「開業の見通しが立たない」と頭を抱える。



ひとつの理由に、静岡県内での工事の遅れがある。県内 8.9 キロの工区について、川勝平太知事が工事を認めていないのだ。一体なぜか。

JR 東海の試算によれば、工事によって静岡県内を流れる大井川の水が、毎秒約 2 立方メートル県外へ流出する。川勝氏は、これが流域の 62 万人の水道水に影響を及ぼし、深刻な水不足を招くと主張。「静岡県民の『命の水』を守る」と声を荒らげている。

これに対し JR 側は、流出量と同じ量を大井川に戻す方策を提示しているが、話は平行線のまま。工事着工の目途は立っていない。(実際に大井川の広域水道を利用しているのは 62 万人ではなく 26 万人のようです)。日本経済の重要な役割を担うリニア中央新幹線。さらなる発展のために、早期の開業を願ってやまない。このような状況では、いつリニアが完成するのか全く分からない。

このような状況を見ていると、私の不満は増すばかりだ。自由民主党も立憲民主党も公明党も、日本維新の会もこの問題を解決しようとしめない。運輸大臣も総理大臣も日本の大動脈を支える交通問題に取り組もうとしていない。川勝知事を支援している立憲民主党は積極的に動いて、リーダーシップを発揮すべきである。

これは静岡という地方の問題ではない。現在の東海道新幹線が自然災害で大損害を受けた時の代替輸送手段としてもリニアは直ぐにも必要なのに。これから人口も減って、リモートワークも当たり前になる中で、東海道新幹線のほかにリニアが必要ですか、という声も出ているが、それは災害大国日本を無視した見方と言える。



完



笑楽日塾3月 Zoomオンライン塾会報告

今月は総会がらみのお話と令和5年度の事業計画について話し合われました。

1. 定例塾会を開催し、日々の活動を議論する

4月 6日(木) 平成4年度 監査(14時 シティタワー蕨2階ロビー)

4月13日(木) 19時30分～45分 オンラインにより定例塾会

19時45分～20時 オンラインのより令和4年度通常総会

5月11日(木) 19時30分からオンラインにより定例塾会開催

6月 8日(木) 19時30分からオンラインにより定例塾会開催

7月13日(木) 19時30分からオンラインにより定例塾会開催

8月 休会 **9月以降はオンラインから通常塾会に切り替える**

9月 7日(木) 19時30分から定例塾会開催

10月12日(木) 19時30分から定例塾会開催

11月 9日(木) 19時30分から定例塾会開催

12月14日(木) 19時30分から定例塾会開催

1月11日(木) 19時30分から定例塾会開催

2月 8日(木) 19時30分から定例塾会開催

3月 7日(木) 19時30分から定例塾会開催

2. 笑楽日塾記念冊子 第6号を発行する

3. 笑楽日塾だよりを毎月発行する

4. 笑楽日塾についてホームページで毎月発信する

5. イベント計画 コロナ規制全面解除、マスク不要の動向を見て9月以降のオンラインではない塾会行動を検討する。具体的な実施については、毎月の定例塾会で協議して可否を決める

1) フィールドワーク銀座(ライオン)

2) フィールドワーク蕨

3) フィールドワーク鎌倉

4) フィールドワーク横浜開港

5) フィールドワーク行田 古墳群

6) フィールドワーク深谷

そのほか長く続けられるシリーズ物

* 渋澤栄一を知る旅(王子・深谷 2回分)

* 荻野吟子を知る旅(嘉永3年(1850)生まれ 妻沼町・熊谷/映画鑑賞
日本女子医大)



「シニアの風」

(順番制で行います。2023年4月「シニアの風」投稿は 清藤 孝さんです)

「見沼んぼのお花見散歩」

塾生:南 英倫

見沼んぼの桜回廊として見沼自然公園周辺や東浦和駅周辺などの散策コースがガイドマップで紹介されています。軽い2km程のコースをお花見散歩に紹介したいと思います。



さいたま市立病院裏の芝川に沿って流れる見沼代用水西縁の遊歩道の桜並木を眺めながら見沼氷川公園までの散歩です。



見沼氷川公園は氷川女体神社下にあります。蕨市民公園を小さくした桜に囲まれた広場でお花見を堪能できます。池は見沼自然公園に比べ小さいですが、アオサギが時々来ます。

遊具はありませんので散歩の方々がちらほらいる程度の静かな公園ですが、桜の時期は多くの方々が訪れます。この公園の入口に唱歌「案山子」発祥の地の像が立っています。



<ご提案のルート>

- ① 浦和駅東口 2 番乗り場からバスで市立病院へ
終点の病院で降りると交通とお客への干渉を抑えられると思います
- ② 市立病院裏の見沼代用水西縁を歩いて氷川女体神社へ(距離は 2km弱です)
見沼氷川公園には駐車場がほとんどありません
- ③ 帰りは公園北側の「芝原小学校」から東浦和駅へのバスを推奨します。



東浦和駅の界隈も桜が見事です。余力があればぜひ散策してみてください。

アクセス 東浦和駅から徒歩で約10分程度





八木 守

第7段階

忘牛存人

(ぼうぎゅうぞんじん)

2023年3月8日から3月22日まで開催されたWBC2023は日本代表・侍ジャパンの14年振りの優勝で幕を閉じました。

普段、野球にあまり興味がない私でも、大相撲が開催されているのにWBCのTV放映に釘付けになり、私も久しぶりに興奮しました。

おとし12月、日本代表の監督に就任した際に栗山英樹監督が掲げた目標はもちろん「世界一奪還」。しかし、この目標には続きがありました。

「野球界の未来のために。次世代の発展のためにやっていきたい」。正に「ドリームチーム・侍ジャパン」、選手はもちろん凄いが、皆をまとめ、個々の個性を活かした采配に私は共感した。苦しい戦いだったと思う。



さて、十牛図も後半、7段階に入りました。

今回は第6段階・騎牛帰家(きぎゅうきか)からの続きをお話したいと思います。

第7段階 あるがままに生きる:忘牛存人(ぼうぎゅうぞんじん)牛のことを忘れるです。

牛にまたがって、私はわが家にたどり着きました。私は穏やかで、牛も休むことができます。夜明けが、至福の休息のうちに訪れ、私の草屋の中で、私は鞭も手綱も捨ててしまった。

牧人はとうとう家に帰り着き、牛を小屋に入れて庭でくつろいでいます。牛が消えたことで、最後に残った煩惱やエゴがなくなるという境地を表しています。

人牛一体であることに執着がある人は、ここまでたどり着けません。この第七図「忘牛存人」で牛は消える(休む)ことになります。つまりは、感情的なエネルギーは消えることになります。

行為するエネルギーを失うことになります。多くの人は、行為するためのエネルギーに**執着**しているのではないかと思います。でも、「わが家」にたどり着けば、感情的なエネルギーは不要です。というよりも、感情的なエネルギーがある限り、「わが家」にはたどり着くことができません。

禅ではこの状態を「見性」と呼ぶのではないかと思います。このことを知れば、もう牛をコントロールするための鞭と手綱は必要なくなってしまう。退屈するエネルギーが消えた時に、人は「わが家」にたどり着き、そこには心安らかな至福があります。

次回は第8段階 人牛俱忘(じんぎゅうぐぼう)です。もともとの牛図では、この第八図で終わっていますが、廓庵(かくあん)和尚はさらに二つの牛図を付け足して十牛図としています。 ~続く~